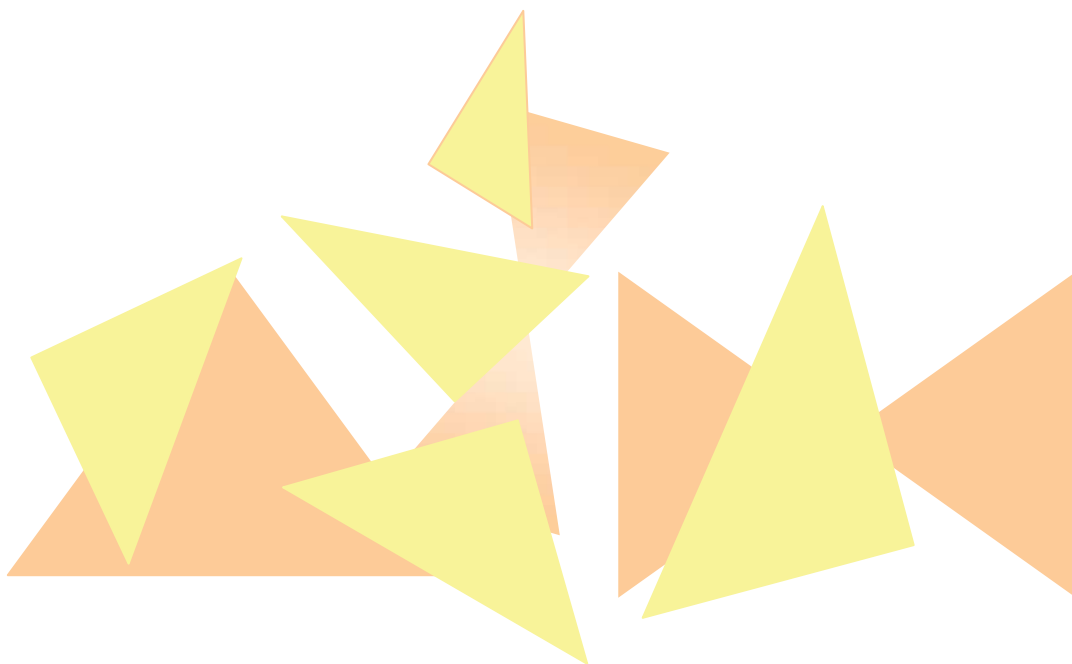


第1章

平成29年度の男女共同参画に関する主な動きと取組み

県では、平成13年3月に山形県男女共同参画計画を策定（計画期間：平成13～22年度）し、男女共同参画による豊かな地域社会を築くための取組みを進めて参りました。平成28年3月には、新たな山形県男女共同参画計画を策定し、さらなる推進に努めております。

第1章では、マザーズジョブサポート庄内の設置や「やまがたウーマノミクス・ネットワーク形成事業」の実施などの女性の活躍促進、山形いきいき子育て応援企業制度や山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰などのワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み、また山形県男女共同参画センターの取組みやDV未然防止に向けた意識啓発の強化についてなど、平成29年度の男女共同参画に関する主な動きと取組みを御紹介します。



1. 女性の活躍促進

(1) マザーズジョブサポート庄内の設置

平成 29 年 10 月 18 日、酒田市役所中町庁舎 2 階ジョブプラザさかた内にマザーズジョブサポート庄内を新たに設置しました。

この施設は、マザーズジョブサポート山形に続き開設したもので、結婚・出産・育児その他の理由で離職している女性の就職希望や仕事をしながらの子育ての不安等について相談に応じるなど、仕事と育児の両立に向けた支援を、山形労働局との連携のもと、一人ひとりのニーズに応じてワンストップで支援することにより、女性のさらなる就労促進を図ることを目的としています。



〔オープニングセレモニーの様子〕

(2) マザーズジョブサポート山形・庄内の取組み

就職を希望している子育て中の女性を支援するため開設した仕事と家庭のワンストップ支援窓口、マザーズジョブサポート山形及び庄内では、離職してからのブランクに対する不安や、お子さんの預け先に悩みを抱えていらっしゃる方などの相談に対応する窓口として、マザーズ・コンシェルジュによる総合相談を実施しております。

併せて、保育ルームを設置し、相談中や就職面接時等における託児サービスの提供を行っています。

その他、県内 6 ヶ所のハローワーク等にマザーズ・コンシェルジュが出張し、セミナーの開催や個別相談に対応する「マザーズおしごと相談会」、就職面接用のスーツ、靴、バッグの貸出等も実施しているほか、当年度より、マザーズジョブサポート山形では、様々な業種に関心を持つきっかけとし、就業に関する女性の選択肢を広げることを目的として、「ママたちの職場見学会」を開催しております。



〔ママたちの職場見学会の様子〕

【利用実績 (H30.1 月末現在)】

| | 利用者数 (延べ人数) | 就職者数 (延べ人数) | 保育ルーム利用者数 (児童数・延べ人数) |
|---------------|----------------|----------------|-------------------------|
| マザーズジョブサポート山形 | 938 人 | 163 人 | 274 人 |
| マザーズジョブサポート庄内 | 158 人 | 9 人 | 69 人 |

【利用者の声】

- ・子どもを連れて行けて、気軽に相談できる。
- ・セミナー時に無料で子どもを預けられることは、とても有り難い。
- ・預け先について、園の特徴や申込方法を知ることができた。

【マザーズおしごと相談会 開催会場】(※) ～H29.9月まで実施

| 地 域 | 会 場 |
|------|-----------------------------------|
| 村山地域 | ハローワーク村山 (村山市楯岡五日町 14-30) |
| | ハローワーク寒河江 (寒河江市大字西根字石川西 340) |
| 最上地域 | ハローワーク新庄 (新庄市東谷地田町 6-4 新庄合同庁舎内) |
| 置賜地域 | ハローワーク米沢 (米沢市金池 3-1-39 米沢地方合同庁舎内) |
| | ハローワーク長井 (長井市幸町 15-5) |
| 庄内地域 | ハローワーク鶴岡 (鶴岡市道形町 1-13) |
| | ハローワーク酒田 (酒田市上安町 1-6-6) (※) |

(3) やまがたウーマノミクス・ネットワーク形成事業の実施

県内の働く女性を対象に、シンポジウムと異業種による交流会を開催し、モチベーションアップや意識改革につなげるとともに、異業種間のネットワーク形成により、企業活動や地域経済の活性化を図ることを目的に、「可能性は∞(無限大) ウーマノミクスでもっと輝くやまがたに」と題して、やまがたウーマノミクス・ネットワーク形成事業を実施しました。

【日時】平成 29 年 11 月 26 日 (日) 13:30～15:40

【会場】山形国際ホテル (山形市)

【内容】第 1 部 講演

講師 日本経済新聞社編集委員／前女性面編集長
石塚 由紀夫氏

第 2 部 トークセッション

・石塚由紀夫氏

・有限会社玉谷製麺所 取締役 営業部長
玉谷 貴子 氏

・明治安田生命保険相互会社 公法人第一部 法人営業第二部
法人営業主任 脇屋 奈央子 氏

第 3 部 交流会



〔交流会の様子〕

(4) やまがた女性活躍応援フォーラムの開催

企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進の重要性を改めてお伝えし、実践的な取組みの促進を目的として、やまがた女性活躍応援フォーラムを開催しました。当日は、慶応義塾大学大学院特任教授兼立命館大学大学院客員教授小杉俊哉氏を講師にお迎えし御講演いただき、また、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む県内企業によるパネルディスカッションを実施しました。



〔フォーラムの様子〕

【日時】平成 29 年 10 月 24 日 (火) 13:15～16:00

【会場】ホテルメトロポリタン山形 (山形市)

【対象】企業の経営者、管理職、人事労務担当者 など

【内容】第1部 山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰式

第2部 基調講演

「女性のマネジメント～女性活躍推進とダイバーシティ～」

講師：小杉 俊哉 氏（慶応義塾大学大学院特任教授兼立命館大学大学院客員教授）

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター：小杉 俊哉 氏

パネリスト：株式会社寒河江測量設計事務所 取締役総務部長 高橋 三庸 氏

山形市農業協同組合 常務理事 佐藤 安裕 氏

山形県 子育て推進部 若者活躍・男女共同参画課 課長 佐藤 勇

（5）女性管理職養成プログラムの実施

働く女性が自らのキャリアプランを考え、管理職として必要なビジネスセンスや実践力を身に付けるとともに、異業種や他の企業で働く女性と情報交換等を行うことにより、次代を担う女性管理職を養成することを目的に、「女性管理職養成プログラム」を実施しました。

【日時】第1回 平成29年8月3日（木）

第2回 平成29年8月24日（木）

第3回 平成29年9月27日（水）

各回 9：30～17：30

【会場】食糧会館（山形市）

【参加者】県内企業等で働く女性中堅社員

【内容】〈第1回〉

講師：株式会社日本マンパワー 研究開発専門課長 小出 真由美 氏

テーマ：『『なりたい自分になれる働き方』

会社からの期待をチャンスに変えるこれからのキャリアを前向きに考えるポイント』

〈第2回〉

講師：東北公益文科大学大学院公益学研究科長・教授 伊藤 眞知子 氏

テーマ：「新しいリーダーシップのあり方

～ジェンダーの視点を考えると見え方が違ってくる～」

〈第3回〉

講師：株式会社資生堂 顧問 関根 近子 氏

テーマ：「仕事もプライベートも輝いて生きるための視点と思考

～歩いた後に一輪の花を咲かせたい～」



〔女性管理職養成プログラムの様子〕

（6）やまがた女性活躍応援連携協議会

平成28年6月、少子高齢化社会の進展に伴い、労働力人口が減少する中、女性の力が最大限発揮される社会づくりを推進するため、県内の各界・各分野を代表する機関・団体が参集し、本県における女性の職業生活における活躍の



〔協議会の様子〕

推進に関する取組みの効果的かつ円滑な実施とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境の整備を目的に協力・連携する場として、「やまがた女性活躍応援連携協議会」を設置し、今年度は下記のとおり、協議会を開催しました。

【日時・場所】 第1回 平成29年7月10日（月）14:00～16:00・県庁
第2回 平成30年1月22日（月）13:15～15:45・山形県自治会館

【協議会メンバー】

○団体

一般社団法人山形県経営者協会・山形県中小企業団体中央会・山形県商工会連合会・
山形県商工会議所連合会・山形県農業協同組合中央会・日本労働組合総連合会山形県連合会・
社会福祉法人山形県社会福祉協議会・一般社団法人山形県銀行協会・株式会社山形新聞社・
国立大学法人山形大学・特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド・山形県市長会
山形県町村会・山形県男女共同参画センター・山形労働局・山形県

○学識経験者

国立大学法人山形大学名誉教授 國方 敬司 氏

2. ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み

(1) 山形いきいき子育て応援企業制度

「山形いきいき子育て応援企業」制度は、「女性の活躍推進」や「仕事と家庭の両立支援」に取り組む企業を、県が登録・認定し、サポートする取組みです。平成30年1月末現在の登録・認定企業数は、705社となっています。

◇登録・認定要件◇

(1)～(3)の要件を全て満たす企業等を「山形いきいき子育て応援企業」として登録・認定する。

(1) 以下のいずれかに該当すること

【宣言企業】 認定基準のうち、2つ以上に取り組む計画がある企業

【実践（ゴールド）企業】 認定基準のうち、2つ以上に取り組んでいる企業

【優秀（ダイヤモンド）企業】 認定基準のうち、4つ以上に取り組んでいる企業

※ 優秀（ダイヤモンド）企業は認定基準Ⅰ・Ⅱ必須

<認定基準>

Ⅰ 女性の活躍推進

Ⅱ 仕事と家庭の両立支援

Ⅲ 出産・育児・介護等により退職した女性の再雇用等

Ⅳ 男女がともに働きやすい職場づくり

Ⅴ 県民の結婚支援・子育て支援・若者応援・地域貢献

(2) ワーク・ライフ・バランス推進員を設置すること

(3) 事業主又は役員が暴力団員でないこと、もしくは暴力団又は暴力団員と密接な関係を有しないこと



◇認定企業へのサポート◇

| | | | |
|--|------|--------------------|------------------|
| ① 奨励金の交付（1回のみ） ② 県産業活性化資金優遇金利（女性を管理職に登用した場合） ③ 女性管理職育成のための研修派遣支援金の交付 ④ 女性役員登用支援金の交付 ⑤ 地域活性化・雇用促進資金（女性活躍推進関連）特別利率適用【日本政策金融公庫】 ⑥ 市町村からの支援措置（上市市・新庄市・鶴岡市・酒田市） ⑦ ワーク・ライフ・バランス実践マニュアル等の配付 ⑧ ワーク・ライフ・バランスミニのぼり旗の配付 ⑨ 奨励金の交付（2回目以降） ⑩ 県産業活性化支援資金優遇金利 ⑪ 県競争入札参加資格者名簿（建設工事）発注者別評価点を5点加点点 ⑫ 市町村からの支援措置適用 （山形市・山辺町・新庄市・鶴岡市・酒田市） ⑬ 荘内銀行・日本政策金融公庫協調融資における特別利率の適用 ⑭ 認定ステッカーの配付 ⑮ ダイヤモンド企業盾の交付 ⑯ 知事との新聞紙面対談（3社/年） | 宣言企業 | 実践 （ゴールド） 企業 | 優秀 （ダイヤモンド）企業 |
|--|------|--------------------|------------------|

※ 奨励金のメニュー

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| (1) 女性を管理職に登用した場合 | (4) 介護休業取得者が出た場合 |
| (2) 女性を役職に登用した場合 | (5) 小学校就学前の子を養育する女性を正社員として |
| (3) 男性の育児休業取得者が出た場合 | 雇用した場合 |

※ 支援金のメニュー

- (1) 女性管理職育成のための研修派遣支援金
 企業における女性管理職の育成を支援するため、外部研修に女性職員を派遣し、その受講料を全額事業主が負担している場合
- (2) 女性役員登用支援金
 女性役員を初めて登用し、その女性役員の活躍の状況・実績を活かして、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの普及に向けた取組みを行っている場合

◇優秀（ダイヤモンド）企業一覧（平成30年1月末現在705社）※敬称略◇

| 企業等名称 | 市町村 | 企業等名称 | 市町村 |
|-------------------|-----|----------------|------|
| A I S O H O企業組合 | 山形市 | 神町電子株式会社 | 東根市 |
| 学校法人羽陽学園 | 山形市 | 社会福祉法人東根福祉会 | 東根市 |
| 株式会社NTT東日本ー東北山形支店 | 山形市 | 特定医療法人敬愛会尾花沢病院 | 尾花沢市 |
| 株式会社大沼 | 山形市 | 株式会社黒田組 | 河北町 |

| 企業等名称 | 市町村 |
|----------------------|------|
| 社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院 | 山形市 |
| 株式会社きらやか銀行 | 山形市 |
| 株式会社クリーンシステム | 山形市 |
| 黒澤建設工業株式会社 | 山形市 |
| 社会福祉法人敬寿会 | 山形市 |
| 株式会社 KDDI エボルバ山形センター | 山形市 |
| 弘栄設備工業株式会社 | 山形市 |
| 株式会社シベール | 山形市 |
| 医療法人社団松柏会 | 山形市 |
| 第一生命保険株式会社 山形支社 | 山形市 |
| 大和証券株式会社山形支店 | 山形市 |
| 大和リース株式会社山形営業所 | 山形市 |
| 株式会社東北消防設備 | 山形市 |
| 東北電化工業株式会社 | 山形市 |
| 株式会社東北福祉サービス | 山形市 |
| 株式会社日本政策金融公庫山形支店 | 山形市 |
| 北洋加工株式会社 | 山形市 |
| 株式会社マルハン | 山形市 |
| ミドリオートレザー株式会社 | 山形市 |
| 社会福祉法人妙光福祉会 | 山形市 |
| 株式会社 Moment | 山形市 |
| 株式会社山形銀行 | 山形市 |
| 山形市農業協同組合 | 山形市 |
| 山形信用金庫 | 山形市 |
| 社会福祉法人友愛会 | 山形市 |
| 株式会社ユニバーサル山形 | 山形市 |
| 株式会社萬屋薬局 | 山形市 |
| リコージャパン株式会社 山形支社 | 山形市 |
| 株式会社寒河江測量設計事務所 | 寒河江市 |
| 角田商事株式会社 | 寒河江市 |
| 日東ベスト株式会社 | 寒河江市 |
| 株式会社コヤマ | 村山市 |
| 日新製薬株式会社 | 天童市 |
| 丸七建設株式会社 | 天童市 |

| 企業等名称 | 市町村 |
|-------------------------------|-----|
| モガミフーズ株式会社 | 河北町 |
| アイル・クリエイト株式会社 | 新庄市 |
| 沼田建設株式会社 | 新庄市 |
| 特定非営利活動法人はぐくみ保育園 | 新庄市 |
| 特定非営利活動法人福祉サポートセンター山形 | 新庄市 |
| 山形航空電子株式会社 | 新庄市 |
| 株式会社三和食品 | 最上町 |
| AGC ディスプレイガラス米沢株式会社 | 米沢市 |
| 一般財団法人三友堂病院 | 米沢市 |
| 朝日金属工業株式会社 | 長井市 |
| 山形中央信用組合 | 長井市 |
| エヌ・デーソフトウェア株式会社 | 南陽市 |
| 阿部コンクリート株式会社 | 鶴岡市 |
| 社会福祉法人一幸会 | 鶴岡市 |
| 株式会社 fe ふぁーむ | 鶴岡市 |
| 有限会社菅原運送 | 鶴岡市 |
| キャド・キャム株式会社 | 鶴岡市 |
| 株式会社荘内銀行 | 鶴岡市 |
| 鶴岡市農業協同組合 | 鶴岡市 |
| 株式会社山口工務店 | 鶴岡市 |
| 社会福祉法人恵泉会 | 鶴岡市 |
| 五十嵐工業株式会社 | 酒田市 |
| 株式会社プレステージ・インターナショナル山形BPOガーデン | 酒田市 |
| 株式会社丸高 | 酒田市 |
| 林建設工業株式会社 | 酒田市 |
| 株式会社エフ・ワン | 庄内町 |
| 社会福祉法人 遊佐厚生会 | 遊佐町 |

(2) 山形いきいき子育て応援企業「優秀（ダイヤモンド）企業」知事対談

「女性の活躍推進」や「仕事と家庭の両立支援」の取り組みが特に進んでいる「優秀（ダイヤモンド）企業」3社と知事の対談が行われました。

はじめに、知事から女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスに関する県の施策について紹介しました。各企業・組合の代表からは社員を大切にする想いや、男性も女性も働きやすい職場づくりに取り組むことの重要性などが話されました。



【対談日時】平成30年2月13日（火）

【掲載紙面】山形新聞

【参加企業】

山形市農業協同組合 代表理事組合長 大山 敏弘 氏
株式会社萬屋薬局 代表取締役 中村 妙子 氏
第一生命保険株式会社山形支社 副支社長 坂 典子 氏

【コーディネーター】 山形大学 名誉教授

関東学園大学 教授 國方 敬司 氏

(3) 山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰

仕事と生活の調和がとれた社会の実現に向けて積極的に取り組み、成果が認められる企業を表彰することにより、県内企業の自主的な取り組みをより一層促進し、県民の意識啓発を推進するため、「山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰」を実施しました。

平成29年度は2社が受賞され、平成29年10月24日にホテルメトロポリタン山形において表彰式が執り行われました。



受賞企業概要（記載内容は受賞時点）

〔吉村知事と受賞者〕

弘栄設備工業株式会社

〔所在地〕山形市〔業種〕建設業（管工事業）〔従業員〕100名（男性78名、女性22名）

〔主な取り組み内容〕

○男性比率が高い建設業界において、いち早く平成13年から女性の管理職登用に取り組んできた。女性従業員22名のうち、管理職2名、役職（係長・主任）7名を登用している。

○従来女性の少なかった技術系分野にも積極的に女性を登用している。

（H25：1名→H29.6：7名）

○在宅勤務制度を導入している。（実績4名）

○結婚や出産を機に退職した従業員の再雇用に積極的に取り組んでいる。（実績2名）

○社員登用制度を設けており、有期契約労働者の正社員登用の実績あり。（実績6名）

○ノー残業デーの設定や、家族参加の社内イベントの実施等を通じて、男女ともに働きやすい職場づくりに努めている。

社会福祉法人恵泉会

〔所在地〕 鶴岡市〔業種〕 福祉（社会福祉施設等の運営）〔従業員〕 323名（男性60名、女性263名）

〔主な取組み内容〕

○女性を積極的に登用し、役職職員55名のうち、女性が37名と、7割近くを占めている。

○仕事と家庭の両立支援のため、育児短時間勤務制度の対象を法定（3歳未満まで）以上の、小学校就学時までとしている。

○平成28年4月に、事業所内保育所を開設し、職員については保育料を半額としている。

○自主的な学習及び研修・研究に対する経費の一部を助成し、研修期間中の職員の服務については、研修日数に応じて就業の義務を免除している。（自主研修制度）

○過去3年間は、女性の対象者全員が育休を取得しており、出産・育児による退職者はいない。

○育児・介護を理由に退職した職員が復職できるようになった際には、その再雇用に積極的に取り組んでいる。（実績2名）

（4）企業向けフォーラム「女性も男性も働きやすい企業を目指して」の開催

企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進の重要性について周知を図り、実践的な取組みの促進を目的として、企業向けフォーラム「女性も男性も働きやすい企業を目指して」を開催しました。

【日時】平成30年1月17日（水） 13:30～15:50

【会場】酒田市民会館「希望ホール」小ホール（酒田市）

【対象】企業の経営者、管理職、人事労務担当者 など

【内容】第1部 基調講演

講師：佐藤 由美 氏（株式会社荘内銀行人事部働き方創造室長）

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：佐藤 由美 氏

パネリスト：有限会社菅原運送（鶴岡市/運輸業）

林建設工業株式会社（酒田市/建設業）

第3部 情報提供：山形労働局雇用環境・均等室



〔フォーラムの様子〕

（5）イクボス研修会の開催

イクボスの普及・拡大により県内企業のワーク・ライフ・バランスを推進するため、「やまがた企業イクボス同盟」主催では初となる「イクボス研修会」を開催しました。

研修会は、「イクボス」養成の第一人者であるNPO法人ファザーリング・ジャパンの代表理事 安藤哲也氏の



〔安藤代表による基調講演〕

講演と、参加者によるグループディスカッションの2部構成で行いました。100席用意した会場は事前申込みで満席となり、イクボスに対する県内企業の関心の高さがうかがえました。

安藤代表の講演は、ご自身がサラリーマンだった頃の経験談と具体的な事例を交えながら、聴く者を引き込んでいく内容のお話で、参加者はイクボスのマネジメント手法を学ぶため、安藤代表の熱のこもった話に熱心に耳を傾けていました。



〔グループディスカッションの様子〕

後半のグループディスカッションでは、参加者が11のグループに分かれ、「イクボスのすべきこと」をテーマに意見交換を行いました。

コメンテーターを務めた安藤代表から指定された「意識改革」「業務改善」「自らのWLB」から各グループ毎にテーマを決め、各社の実情を交えながら非常に活発な意見交換が行われました。

最後にグループが話し合った内容の発表に対し安藤代表からコメントをいただき、参加者全体で共有することができました。

3. 地域における男女共同参画の推進

(1) 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」を実施しました。平成29年度は、功労者表彰2名、チャレンジ賞1名、1団体が受賞され、平成29年10月15日に開催された「チェリア・フェスティバル山形2017」において表彰式が執り行われました。



〔吉村知事及び子育て推進部長と受賞者〕

受賞者概要（功労者表彰）

功労者表彰は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が特に顕著であると認められる個人・団体を表彰するものです。

齋藤 由美子氏（山辺町）

平成13年4月の県男女共同参画センターの設置当初から、職員として、「チェリア塾」をはじめとした同センターの事業に中核的に携わり、その推進に貢献した。

平成23年4月からは、東北文教大学短期大学部において、講師・准教授・特任准教授として、一貫して男女共同参画に関する研究を行い、学生への指導にあたりるとともに、県等が主催する男女共同参画に関する各種講座・講習会等でも数多くの講演等を行い、本県男女共同参画の推進に大きく貢献している。

また、県主催のデートDV防止に関する出前講座の講師や、県犯罪被害者等支援推進委員会委員を務めるなど、県内のDV防止に関する取組を牽引している。

瀬戸山 京子氏（天童市）

昭和46年から、天童市初の女性議員として、主に保育園の保育時間の延長や学童保育所の整備等に取り組み、女性も男性も差別なく働ける環境整備に貢献した。

平成6年から平成22年までは天童市内でも数少ない女性公民館館長として活躍し、市の公民館長関係の会議において女性の代表として女性の地位向上を訴えるとともに、婦人会役員として防災の強化に働きかけるなど、男女共同参画による地域の活性化を図ってきた。

さらに、天童地区において長年に渡り学童保育所の整備の促進のため指導的な役割を果たすとともに、昭和52年から現在に至るまで山形県学童保育協議会の事務局長及び理事として県内全域の学童保育所の整備促進に貢献するなど、男性も女性も安心して働き出ることができる環境整備に尽力した。

受賞者概要（チャレンジ賞）

チャレンジ賞は、仕事や地域活動等、様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を表彰するものです。

小野 卓也氏（長井市）

妻が長年単身赴任で不在となる中、住職としての多忙な仕事と3人の子どもの子育てを両立している。「出来る人がやる」という柔軟な考え方で、独自のワークライフバランスを確立し、実践している。

自身の経験を生かし、地元長井市をはじめとして、県内各地でワークライフバランスや男性の家事・育児への参画に関する講演を数多く行い、男女共同参画の推進に向けた気運の醸成に大きく寄与している。

また、平成27年度からは、長井市の男女共同参画推進審議会の委員として、様々な提言を行い、同市の男女共同参画基本計画策定に貢献している。

鶴岡ナリワイプロジェクト（鶴岡市）

「自分の好きなこと×地域のために役立つこと」で、町の小さな課題を解決し、月3万円程度の利益を生み出すスモールビジネス（＝ナリワイ）を創るという新しい働き方のロールモデルを提案し、女性や若者が能力を発揮し、活躍できる環境づくりに取り組んでいる。

起業講座を開催し、参加者同士の意見交換を積極的に行い、チーム化していくことで能力はあるが育児等によりフルタイムで働くことができず、自分の力を発揮する機会が少ない女性に、活躍の場を生み出している。

平成27～28年度の2年間の起業講座では、31名の卒業生を輩出。その約9割が自分のナリワイを継続している。

(2) 山形県男女共同参画推進員の取組み

県では、平成28年度より県内の各地域において男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るために、各地域の実情や特性を踏まえて地域の中で男女共同参画を推進する山形県男女共同参画推進員を設置し、推進員による出前講座などを実施しています。

【推進員の設置状況】

| 村山地域 | 置賜地域 | 最上地域 | 庄内地域 |
|------|------|------|------|
| 6名 | 4名 | 6名 | 4名 |

5. 山形県男女共同参画センター・チェリアの取組み

(1) 山形県男女共同参画センター・チェリアの概要

山形県男女共同参画センターは、男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野に共同参画する豊かな社会「男女共同参画社会」の実現をめざす活動交流拠点として、平成13年4月1日より遊学館（山形市）内に開設しました。

愛称である「チェリア」は、チェリー（さくらんぼ）とエリア（場所）の組合せによる造語です。さくらんぼは山形県の名産であり、また二つの実が一緒になっている形が男女仲良く並んで男女共同参画を表現しているように見えることからセンターのシンボルマークにもなっております。



〔チェリアシンボルマーク〕

<チェリアの主な取組み>

- ① 県民の男女共同参画に関する意識改革
民間団体・グループが実施する男女共同参画に関する講座等の開催経費に助成金を交付する県民企画事業や、広報誌「チェリア」の発行やホームページによる情報提供を行っています。
- ② 地域における身近な男女共同参画の推進
登録団体・グループの発表など県民の参加と交流を目的としたチェリアフェスティバルや県内4ブロックにおいて各地域が主体となって企画、実施する地域講座等を実施しています。
- ③ ワークライフバランス及び女性の活躍推進
企業や地域において男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成する「チェリア塾」の開催や、男性の意識啓発促進のための男性セミナーの開催等を実施しています。
- ④ 男女共同参画に関する相談・支援
一般相談、男性相談、専門相談（弁護士による法律相談、臨床心理士によるこころの相談）を実施するとともに、相談機関の実務者研修会や相談業務から見えてくる悩みをテーマとした講座を開催しています
- ⑤ その他男女共同参画に関する業務
各種調査、団体研究への指導及び各種研究を行っています。

(2) 平成 29 年度の主な実施事業

○ チェリア恒例の祭典「チェリアフェスティバル山形 2017」を開催！

チェリアフェスティバルは男女共同参画社会づくりを目指して活躍している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流を目的に、毎年 10 月の第 3 日曜日に実施しています。今年度は「あなたと私 違いを力に変えていく」をテーマに、10 月 15 日（日）に遊学館で開催されました。

チェリア登録団体から選ばれた実行委員の企画により、講演会や団体・グループによるワークショップ、活動発表、男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰など今年も盛りだくさんの内容で、当日は、延べ 3,982 人のご来場をいただきました。



〔講演する浜田敬子氏〕

【浜田敬子氏による講演会】

「女性が輝く社会～女性のキャリアアップに必要なこと～」と題した浜田さんのお話は、女性が活躍するには現状をどう変える必要があるのか等について、様々な視点からお話をいただきました。そのうえで、女性側からも夫の考え方を変えるとか、勇気を持って女性視点の価値観を組織に注入することが大事などのアドバイスをいただきました。女性の活躍を応援する、すばらしい講演会でした。

【団体・グループの活動発表】

ワークショップ 12 企画、展示発表 14 団体、県民交流 7 団体と多くの団体が日頃の活動の成果を発表しました。

〔アトラクション・にぎわいコーナーの様子〕

【アトラクション・にぎわいコーナー】

屋外ピロティを利用したにぎわいコーナーでは、そば打ちの実演・振る舞い、だがしや楽校、バルーンアートの実演などで賑わいました。また、高校生・外国人学生のボランティア、「男性セミナー」の受講生などに、幅広くスタッフとして参加していただきました。



○ 「チェリア塾基本コース」を村山地域で開講

企業や地域において、男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成するとともにそのネットワーク化を目的に、「チェリア塾・基本コース」を村山地域で開講しました。修了者数は 25 名でしたが、修了後も自主的に学習会や交流を続け、次年度の実践コースに進む準備を行っています。

【講師】

遠藤恵子氏（東北学院大学名誉教授）・尾形恵子氏（㈲ティップス取締役社長）・高木直氏（チェリア館長）・中野満知子氏（オフィス「想」ネットワーク代表）・廣瀬隆人氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

【内容】

- ・一歩動き出すために～私たちは何にモヤモヤしているんだろう？～
- ・キャリアデザイン～自分にできること・したいこと・やらなければならないこと～
- ・山形の女性よ、ガラスの天井を打ち破れ！
- ・対等な人間関係を育もう～心通うコミュニケーションで変わる関係～
- ・ふりかえりと次のステップへの踏み出し～そして私はどうなるのか～ など



○ 「チェリア塾実践コース」を最上地域で開講

「チェリア塾・実践コース」は、基本コース修了生を対象に、受講者自らが自主企画講座を企画・運営し、実践力を身につけるとともに確固たるネットワークを築くための講座です。本年度は、最上地域での基本コース修了生のうち11名が参加し、2グループに分かれて自主企画講座を開催しました。受講生は役割を分担し、苦勞しながらも協力し合って最後は成功裡にやり遂げました。

講座修了後は、今後自分達で自主的に活動していくグループ「もがみチェリア」を立ち上げ、最上地域に在住しているチェリア塾修了生にも声掛けし、地域の女性ネットワークの形成を目指していくことを確認しました。今後のご活躍を期待しています。



「実践コース」で自主企画講座のテーマを話し合っている様子

【自主企画講座】

2グループに共通した思いは「一歩の踏み出し」でした。なりたい自分を考え、皆が生きやすい地域社会を目指して、テーマを「昨日と違う自分になるう」と決定し講座を開催しました。

- ★ 「e-toco カフェ～いいトコさがしていいコトみつけよう～」

講師 塩野貴美氏 (コーチ・カウンセラー)

- ★ 「自分らしい自己紹介～さあ！あなたも一歩ふみだそう～」

講師 石山由美子氏 (NPO 法人山形の公益活動を応援する会アミル)



○ 男性セミナーの開催

男性セミナーは、シリーズ「男の土曜塾」として「ちがいがわかる男のコーヒー座談会 vol.3」を、1月13日(土)・2月3日(土) 遊学館学習室を会場に2回の連続講座として開催しました。参加者はもちろん全員男性で、年齢も若い人から高齢者まで多様でした。講座は両日とも、第一部がコーヒー講座、第二部が男女共同参画講座という2部構成で、美味しいコーヒーのいれ方を学ぶとともに、男性の立場から男女共同参画を考えるという内容でした。

講師は、第一部が赤塚宏之氏(株東北萬国社)、第二部がチェリア塾修了生4名の方にお願ひしました。チェリア塾修了生は、チェリア塾で学んだ後の実践活動を通じて習得したファシリテーション技法

を發揮し、コーヒーを飲みながらのリラックスした雰囲気の中で講座が進み、最後は大いに盛り上がった話し合いとなり、皆さん何かしらの気づきがあった様子でした。



〔様々なコーヒーを飲み比べ、淹れ方や品種による味の違いを確認しています。〕



〔コーヒーを飲みながら、リラックスした雰囲気の中で話し合いが進みます。〕

○ 地域ネットワーク活動の促進

県内4地域に形成された男女共同参画地域ネットワーク活動の活性化を図り、性別や年齢に関わらず多様な人々が自治会や地域活動などに参画し、地域という身近な生活の場での男女共同参画を促進するため、各地域におけるネットワーク活動を支援しました。

■ 村山地域

チェリア塾1期生で構成される「桜桃の会」が、第1回目としてチェリア塾6期生を中心とした「米沢チェリア塾ネット」と連携して、6月10日(土)「米沢市ナセBA」を会場に、太田千尋氏(仙台クロスロード研究会代表世話人)伊藤和美氏(NPO法人明日のたね理事長)を講師に「楽しく学ぶ防災講座」を開催しました。

また、第2回目としてチェリア塾7期生で構成される「チェリアセブン」と連携して、9月16日(土)「上山市働く婦人の家」を会場に、同じ講師陣による「楽しく学ぶ防災講座」を開催しました。

■ 庄内地域

「庄内ちえりあ」主催で、12月3日(日)「東北公益文科大学大学院セミナーハウス」を会場に、伊藤真知子氏(東北公益文科大学大学院研究科長)を講師に「デートDVファシリテーター養成講座フォローアップ研修」を開催しました。昨年実施した「デートDVファシリテーター養成講座」の受講生を対象に、実践的な力をより確実に習得していくための研修会で、参加者は真剣に取り組んでいました。

○ 男性相談の実施

男性は、悩みごとがあっても誰にも話せず、一人で抱え込んで頑張り過ぎてしまう傾向があると言われる、深刻な事態に発展してしまう場合もあります。

このため、男性が相談しやすい環境整備を目的に、「やまがたいのちの電話」のご協力で男性相談員を配置し、「男性ほっとライン」として男性相談専用の電話相談窓口を設置しています。(毎月第1・第2・第3水曜日:19:00~21:00)

平成27年度からスタートしましたが、利用者は年々増加しており、悩みを持つ男性の多いことが窺われます。今後のより充実した相談体制について検討していきます。

○ 「悩みに寄り添う講座」の開催

「チェリア相談室」に寄せられる相談は多岐にわたっていますが、相談内容の根底に潜む一人ひとりが抱えている“生きづらさ”に焦点を当て、相談事業から見えてくる悩みに寄り添う講座「私らしく生きていく～私自身のためのレッスン～」を開催しました。

第1回は10月21日（土）「女だから・男だから」からの脱却！」を、高木直氏（山形県男女共同参画センター館長）を講師に開催しました。ジェンダーに関する現状や背景を把握し、女性も男性も自己を肯定し自立的に生きていくには、今後どのような意識改革や行動が必要なのかを学びました。

第2回は10月28日（土）「機能不全家族」からの脱出！」を、森岡由起子氏（大正大学心理社会学部教授医学博士）を講師に開催しました。「機能不全家族」とはどのようなものか、なぜそうなったのか、そこからどのように脱出し“自分らしさ”を取り戻していくかを学びました。

5. DV未然防止に向けた意識啓発の強化

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から加えられる暴力」をいいます。

県では平成28年3月に新たな「山形県DV被害者支援基本計画」を策定し、男女が互いに人権を尊重し、暴力のない社会の実現に向け、取り組んでいます。県及び県男女共同参画センター・チェリアの平成29年度の主な取組みを紹介します。

（1）デートDV防止出前講座の実施

若年層におけるDV事案の未然防止、意識啓発のため、平成24年度から県内公立・私立高等学校、短期大学、大学等の生徒を対象に「デートDV防止出前講座」を実施しています。講師による講話のほか、DVDでの事例紹介、ロールプレイ等、高校生や大学生等への啓発を行いました。

【事業実施回数】

| | 高等学校 | 大学・短大 | 専門学校 | 計 |
|--------|------|-------|------|----|
| 平成24年度 | 5 | 3 | — | 8 |
| 平成25年度 | 8 | 1 | — | 9 |
| 平成26年度 | 7 | 3 | 2 | 12 |
| 平成27年度 | 13 | 3 | 2 | 18 |
| 平成28年度 | 13 | 3 | 2 | 18 |
| 平成29年度 | 14 | 3 | 2 | 19 |
| 延べ実施校数 | 60 | 16 | 8 | 84 |

（2）～女性に対する暴力をなくす運動～パープル・リボンキャンペーン

パープルリボンキャンペーンとは、パープル（紫）色のリボンを身につけることで、「暴力のない世界にしたい」という想いや、被害者に対する理解・支援を行う運動です。今年も、県庁ロビー、遊学館1F、総合支庁、さらに県内各市町村で啓発ポスターの掲示やパープルリボンブローチの配布、パネル展示、市町村独自のライトアップキャンペーン、県内各地のご当地キャラクターのパープルリボンブローチ着用など女性に対する暴力をなくす運動の啓発に取り組みました。

チェリアでは、パープルリボンブローチを襟元などにつけていただくキャンペーンを実施すると

ともに、会場にツリーを設置し、来場された皆さんからパープルリボンのオーナメントを飾って頂くことで、今回のパープルリボンプロジェクトのシンボルにしました。



上山城のパープルライトアップ



ご当地キャラクターのパープルリボンプロ
ーチ着用の様子
(写真：(上) おおくら君 (大蔵町)、
(右) かねたん (米沢市)



(3) デートDV予防教育実践者セミナー

DVを生みださない社会にするため、また子ども達をDVの被害者にも加害者にもしない教育の充実のため、子ども達の一番身近な立場で、生徒指導や相談に携わる教育関係者(生徒指導担当教諭、養護教諭等)を対象に、デートDVに関する基礎知識及び高校生・中学生などの若年層におけるデートDVの実態についてのセミナーを開催しました。

【日時】平成29年11月8日(水)

【会場】山形県教育センター大講義室(山形市)

【講師】東北公益文科大学 教授 伊藤 眞知子 氏

【テーマ】「学校におけるデートDV予防教育について」



〔セミナーの様子〕

6. 全国知事会提言

ウーマノミクスの加速で地方創生！日本再生！
～女性も男性も共に働き、共に育み、活躍する社会～

(1) 取組みの背景

全国の知事が協力して、男女共同参画について総合的に調査・研究等を行い、適切な施策を強力に推進するため、全国知事会に男女共同参画プロジェクトチームが設置されています。

本県の吉村知事は、平成24年から当プロジェクトチームのリーダーに任命され、今年度も各都道府県知事と協力し提言書を取りまとめ、8月に内閣府、厚生労働省へ提言活動を行いました。

(2) 提言の内容

ウーマノミクスの加速で地方創生・日本再生

～女性も男性も共に働き、共に育み、活躍する社会～

現状と課題・その解決に向けて

- **労働力人口が減少しており、我が国の成長のマイナス要因となっています！**
我が国の生産年齢人口は年々減少しており、平成27年10月～平成28年9月の1年間では、一つの県や政令市の人口に相当する72万人が減少しています。
このため、労働力不足の傾向が顕著となっており、今後の経済成長の阻害要因となることが、大いに危惧されます。
- **ライフイベントにおいて女性の負担が大きく、活躍の「ハードル」となっています！**
結婚、出産、育児、介護などのライフイベントにおいて、特に女性にとっては負担が大きいことから、キャリアを積んでいくうえで「ハードル」となっており、持てる能力を十分発揮し難い現状となっています。
- **我が国の持続的な発展には、女性の一層の活躍が不可欠です！**
今後とも、我が国が将来にわたり持続的な発展を実現するためには、女性の一層の活躍が必要であり、社会全体での環境整備が求められるところです。
- **働き方改革と意識改革の両面での改革が必要です！**
女性が能力を発揮するため、高度経済成長期以来の硬直的な労働市場や職場慣習改善など働き方の改革を進める必要があります。
また、男女共同参画に関する理解が、未だ十分ではない現状にあることから、社会全体での意識改革を一層進める必要があります。
- **ウーマノミクスを加速させ、「地方創生」・「日本再生」につなげます！**
「働き方改革」と「意識改革」の2つを課題解決のための視点とし、女性も男性も活躍できる環境づくりを実現することによりウーマノミクスを加速させ、「地方創生」、「日本再生」につなげていきます。

1

全国知事会 男女共同参画プロジェクトチーム・リーダー
山形県知事 吉村 美栄子

ウーマノミクスの加速で地方創生・日本再生

～女性も男性も共に働き、共に育み、活躍する社会～

《課題解決に向けた7つの提言》

- ① ワーク・ライフ・バランスを推進し、家庭と両立しながら
安心して働き続けられる環境の整備
- ② 子育て・介護と仕事の両立のための環境の整備
- ③ 非正規雇用労働者の正社員化の促進、待遇の改善
- ④ 子育てしながら再就業を希望する女性を支援する環境の整備
- ⑤ 女性が活躍できる職場環境の整備、女性の起業の支援
- ⑥ 男性の家事・育児への参画の促進
- ⑦ 女性活躍の推進に政府と地方が一体となって、
本気で取り組むための十分な財源の確保

2

提言全文は、全国知事会ホームページをご覧ください。

男女共同参画プロジェクトチーム

検索